

ひかが 議会だより

No.48
2022.1.17

発行編集：日之影町議会報編集委員会

日之影町は私たちが守ります！（日之影三銃士）



広瀬 哲朗さん
(日之影駐在所長)

初めての駐在所勤務です。毎朝子供達の笑顔に接するのが楽しみです。今年も町民の皆さんをしっかりと守っていきます。



林 慶さん
(高松駐在所長)

今年も日之影を守っていきまので、よろしくお願いします。



三樹 武司さん
(八戸駐在所長)

地域に根ざした警察官として、日之影町がより良くなるように頑張ります。

議長あいさつ



議長 一水輝明

新年明けましておめでとうござ
います。年頭に当たり議会を代表
いたしまして一言ご挨拶を申し上
げます。

町民の皆様におかれましては、
ご家族共々おやかな新年をお迎
えのことと心よりお慶びを申し上

げます。また、日頃より町議会活
動に對しまして、ご理解・ご協力
を賜り、衷心より御礼を申し上げ
ますと共に本年も宜しくお願い致
します。

さて、昨年を振り返ってみます
と、一昨年に続き新型コロナウイルス
感染症拡大に歯止めがかから
ず、特にデルタ株が猛威を振るう
「第5波」の大きな影響を受け新
規感染者数がこれまでにない勢い
で増加し、連日過去最高を更新す
る等大変厳しい状況となりました。
そのような中、本町の基幹産業で
もある農林業にも日照不足等の影
響も相まって農作物に一部損害を
与えました。また、町制施行70周
年記念式典の開催や各種行事、集
落のお祭り等も自粛となり、持続
可能なまちづくりにも課題を残し
ました。

一方、64年ぶりに新庁舎が町民
センター跡地に移転建設され、5
月6日に開庁しました。新庁舎は、
ゆつたりとした執務空間と町民ホ
ールや図書館機能を併せ持つ複合
施設となり、町民の安心安全を守
る防災拠点施設としての安全性も
確保されました。今後とも、住民
サービスの更なる向上と効率化、
文化交流の場として、町民の皆様
に親しまれる安心安全なまちづく
りの構築に向け、町民一体となっ
て本町の発展に繋がるよう取り組
んでまいります。

町村議会においては、全国的な
人口減少や高齢化の進む中、議員
のなり手不足が深刻化しています。
町民の代表機関としての責任とそ
の役割を果し、町民の負託に応え
るべく邁進してまいりる所存でござ
いますので、今後とも、町民の皆

様のご指導・ご鞭撻を賜ります様
お願い申し上げます。

結びに、今年の干支「みずのえ
とらは、厳しい冬を乗り越えて芽
吹き始め、新しい成長の礎となる
年」とも言われています。一日も
早い新型コロナウイルス感染症の
収束を願い、本町の農林業・商工
業等の益々の発展と町民の皆様の
ご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ
新年の御挨拶といたします。



【新しくなった議場】

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

【期 日】 令和3年11月5日

【場 所】 議会委員会室

【調査事項】 新庁舎における文化施設の運営状況について

【説 明】 教育委員会

（１）町立図書館の運営状況及び図書館協議会について

図書館の運営状況は、5月の開館から10月末までに2,966名の来館があり、本の貸し出し人数は2,132名、貸出数は4,515冊で町民の学習活動に対する関心の高さが伺える。

その要因として学習スペースの利用や放課後子供教室の利用、仕事帰りの親子、県立図書館が市町村に貸出しをするやまびこ文庫を活用して放課後子供教室に配置するなど、「教育の町・日之影」にふさわしい環境が出来たからと思われる。

また、学校図書館では、4名の図書活動推進員が各学校へ週1回出向き、給食時間を使つての本の読み聞かせ、書架整理、貸出業務を行っており、活動推進員が活動することにより児童・生徒が本に興味を持ち町立図書館を利用している。

現在、図書館の愛称とキャラクター募集をしており、応募状況はまだ少ないようだが、決まれば親しみも増し、更なる図書の普及に繋がるものと考ええる。

町内外から庁舎の中にある図書館として注目もされており、運営充実について助言を得るため、学校・社会教育関係者、家庭教育や子育て支援関係者等で構成されている日之影町立図書館運営協議会の意見などを参考に、住民から愛される充実した運営を望むものである。

（２）本庁町民多目的ホール、和室、調理実習室の運営状況について
各課の会議や生涯学習の利用が多く、今年10月までに多目的ホールは379回、和室は156回、調理室は14回の利用実績である。
11月、12月は、各文化施設の利用申し込みが多くなっている。
今後、あらゆる広報活動のもと、利用推進を望むものである。



■経済建設常任委員会

【期 日】 令和3年11月16日

【場 所】 町道平底山裏線、俵石林道

【調査事項】 一の水橋開通による経済効果について

【説 明】 農林振興課

10月14日に開通した一の水橋の開通にあたり、その経済効果について農林振興課より対象集落である一の水集落及び徳富集落の農地や山林の状況の説明を受け、一の水橋から俵石林道終点までの現地調査を行った。一の水集落は26戸、徳富集落は15戸、農業は主に水稲で、その他クリ、ユズ、キンカン等が栽培されており、畜産、林業も営まれている。

俵石林道は、延長5,660mで途中までの舗装で終点まで問題なく行くことができたが、終点では車がかるうじて回れる広さしかない。この林道の終点付近には、町有林が6・9haあり、間伐等適切に管理されている。

なお、木材搬出に係る車両の大型化に伴う林道等の幅員の確保と将来山を販売する際には架線搬出になると思われるが、その頃に架線技術者がいるのか、また、そこで働く若い従事者がいるのか心配され、架線技術の伝承と従事者の確保が必要と思われる。

平成27年度に立木を購入した戸川岳の町有林を生かすため、戸川岳に向けて的林道開設が必要である。

一の水橋は、平底集落から徳富集落を結ぶ2級町道平底山裏線に架かる橋である。これまで、幅員が狭い上、見通しが悪く、離合が出来ないため通行に支障を来していたが、開通により、交通の円滑化が図られている。

経済効果として、金額的なものは算出されていなかったが、人口の減少、高齢化が進み、後継者がいない等の問題を抱えている。

当地区の人工林における伐期経過（35年以上）の山林は269・6haで、内町有林は、22・6haである。今後、伐期経過した木を伐採し搬出するにあたり、この橋は有効に活用され、またこの地域の住民にとって安心・安全な生活環境への改善に大きく貢献するものと期待するものである。



令和3年 第4回定例会 議案一覧

議案番号	件名	概要
議案 第43号	日之影町旅費条例の一部を改正する条例	九州中央自動車道、日之影深角ICから平底交差点間の開通に伴い役場から集落までの距離に変更が生じたため、日之影町旅費条例の一部を改正するもの
議案 第44号	日之影町税条例の一部を改正する条例	所得税法の一部を改正する法律が令和3年4月1日から施工されたことにより、寄付金控除について、特定公益増進法人等に対する寄付金が見直されたため
議案 第45号	日之影町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業者等の業務負担軽減を図る観点から、家庭的保育事業者等による諸記録の作成・保存等において原則として電磁的な対応を認めることとするための基準を追加するもの
議案 第46号	日之影町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設事業者等の業務負担軽減及び保護者の利便性向上を図る観点から、書面で行う者において原則として電磁的な対応を認めるための基準追加
議案 第47号	日之影町国民健康保険の条例の一部を改正する条例	産科医療補償制度の掛金が引き下げられるために、日之影町国民健康保険の被保険者に関する出産育児一時金の額を40万4千円から40万8千円に引き上げるとするもの
議案 第48号	日之影町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	子どもにかかる国民健康保険料等の、均等割り額の減額措置の導入に伴う見直し
議案 第49号	日之影町道路線の認定について	一の水集落内の町道一の水塩井線を引き続き町道として認定し管理していくもの
議案 第50号	令和3年度日之影町一般会計補正予算 (第6号)	新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る費用の追加、大雨に伴う災害復旧及び新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種事業中止等による事業費の減額などが主なもの
議案 第51号	令和3年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算	新型コロナウイルスワクチン接種費用に伴う補正
議案 第52号	令和3年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算	医療給付費等の増による補正が主なもの
議案 第53号	令和3年度日之影町簡易水道事業特別会計補正予算	修繕料の補正が主なもの
議案 第54号	令和3年度日之影町奨学資金事業特別会計補正予算	奨学資金貸付者及び貸付金の決定に伴う補正
議案 第55号	令和3年度日之影町介護保険特別会計補正予算	介護認定者の介護サービス利用回数増による居宅介護サービス費及び、施設入居者の増による施設介護サービス給付費の増が主なもの
議案 第56号	令和3年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算	保険基盤安定負担金の確定に伴う補正
議案 第57号	工事請負契約の締結について	林道施設災害復旧事業 二子山西線の林道災害復旧工事の落札業者決定に伴い、契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議決
議案 第58号	令和3年度日之影町一般会計補正予算 (第7号)	18歳以下の子どもに対し、現金10万円を支給することに伴う補正
議長発議	新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の設置について	新型コロナウイルス感染症対策の長期化に伴う町民生活や地域経済への影響等に関する調査のため、特別委員会を設置 ※不測の事態に対し議会として各種施策を提案するために設置

令和3年度日之影町一般会計及び特別会計補正予算

今回の補正は、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る費用、子育て世帯臨時特別給付金、寄付金、障害者自立支援給付費の国県負担金精算金等の追加、災害復旧費県補助金等、町債の災害復旧事業債等の減額で、歳入歳出を5,259万円補正する。

予算総額 52億7,960万円

■ 注目補正予算 ■

5,218万円追加



子育て世帯臨時特別給付金

129万円追加



まち・ひと・しごと創生寄付金等

633万円追加



林道施設整備委託料等

1,083万円追加



ワクチン接種会場の様子
新型コロナウイルスワクチン接種委託料等

1,252万円減額



令和元年度溪谷まつりの様子
ひのかげ溪谷まつり中止に伴う補助金減額

182万円追加



日之影温泉駅営業損失補償費等

■ 注目補正予算特別会計 ■

日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算	新型コロナウイルスワクチン接種費用	689万円追加
日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算	一般被保険者療養給付費等	1億3,278万円追加
日之影町簡易水道事業特別会計補正予算	維持修繕費	101万円追加
日之影町奨学資金事業特別会計補正予算	奨学資金貸付金	174万円追加
日之影町介護保険特別会計補正予算	保険給付費、地域支援事業費	2,923万円追加
日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算	後期高齢者医療広域連合給付金	199万円減額

日之影町政3期目を担う決意は

町長

誇りをもって住み続けたいと思える町づくりをする



小谷 幸治
議員

問

2期8年を振り返っての自己評価は

町長

将来に不可欠なハード面の整備については、計画も含め順調に推移したと考えているが、人口減少対策などのソフト面については、ある程度の改善は見られたものの、これから取り組まなければならない事もあると感じている。

問

3期目で取り組む重点施策は

町長

とりわけ次のことを重点施策として考えている。「日之影で子供を育てたいと思っていただけけるよう、給食費や医療費の無償化などの子育て支援の充実」、「どの集落に住んでいても安心して



【最盛期を迎えるランタンキュラス】

生活できるよう、交通弱者の移動手段の確保や買い物支援などの共に支え合う福祉の町づくり」、「農林業、商工業の振興や中央地区活性化対策などの産業の振興による活力ある町づくり」、「移住や定住の促進を図り、人口減少の抑制を目指し、住宅環境や道路交通網の整備などの、住み続けたい、住んで良かった町づくり」など既存施策を踏襲するのではなく、常に情報収集に努め、町民のニーズに即した事業を進めていく。

町長

住民サービス向上に向け見直しについては検討していく



飯 静香
議員

問

「すまいるバス」ダイヤ改正後の運行状況、循環線の一方向通行を改正前の交互への再編はできないか

町長

利用実績を踏まえ、利用しやすい、効果的な運行形態について検討していく。

問

土曜日の運行状況をみての見直しは

町長

利用者が少ないことから町内の公共交通体系の見直しを行うなかで、運行回数を含めた最適化を検討していく。

問

路線バス乗り場までの歩行困難な方や運転免許証返納者への対応は



【さらなる利便性が求められるすまいるバス】

町長

乗合タクシーの導入など、実情に応じた移送サービスを構築できるように検討していく。

問

今ある温泉駅を生かし町民の満足いくような買い物ができるよう工夫はできないものか

町長

行政の役割とともに、住民共助による買い物支援や高齢者の移動手段を検討していく。誰もが住みよい町づくりを実感できる、利便性の高い中央地区を目指していきたい。

選挙公約のビジョンは

町長

町民の意見を施策に反映させる

彦 睦員
甲 斐議

問

町づくりの全体像の考えは

町の特徴的な自然や景観の中で自然と生きる町・地域で支え合う「人と生きる町」「住民が誇れる町」を理念とした全体像を考える。

町長

問

選挙公約のビジョンは

行政へのニーズは多様化しており町民と行政が一体となつて行う必要があり、その為には町民の意見が施策に反映され、見直すべきものは見直し公約実現へ向け取組み、これらの財源確保に「ふるさと納税」の獲得にも取り組む。

問

新年度予算基本的な考えは

町長

地方財政は厳しい状況にあり施策の優先順位を洗い出し中身の大胆な重点化が必要である。

問

ひのかげ近未来会議から、考えと取組みは

中学生が体験を通して、町の課題やその解決策を提案してくれたので、町の活性化に繋がるヒントとしてよいものについては取り入れていきたい。

教育長

問

コロナ収束後を見据えた公民館活動支援は

地域の絆や地域の誇りを念頭に各団体と連携した活動を支援する。

教育長



【ひのかげ近未来会議の様子】

公約実現に向けた取り組みと財源は

町長

自主財源獲得に努めながら、住んでみたい、住んでよかったと実感できるまちづくりを行う

嗣 英員
高 館議

問

今回の町長選挙において、様々な公約を打ち出されていたが、公約実現するための取り組み及び財源は

大きく5つの項目に分け、施策をあげたところであるが、子育て支援や教育の充実、交通弱者の移動手段の確保や買い物支援、産業振興や地域の活性化対策、移住・定住促進、地域医療体制の確立など、ハード面は当然ですが、ソフト面の充実を更に図ってまいりたい。また、財源には限りがあることを念頭におき、既存施策の継続や見直しを慎重に行いながら、少ない予算で最大限の効果が現れるよう工夫し

ていく。

さらに、財源の確保については、ふるさと納税などの自主財源の獲得に向けた取り組みを更に進めるとともに、国や県の動向を的確に捉え、事業獲得に向け努力し、一般財源の支出をできるだけ抑えるようにしていく。

また、提案いただいた「住民参加型市場公募債」や「財政健全化条例」においても検討していく。

『住民参加型市場公募地方債』とは

- ・ 債券発行によって資金を調達する『市場公募地方債』の一類型。購入者を『当該債券の発行団体内に居住する個人・法人』に限定する銘柄が多い点特徴。
- 第1号案件は、平成14年3月に群馬県が発行した「愛県債」。

▽住民参加型市場公募地方債の制度目的

- ・ 住民の行政参加意識高揚
- ・ 住民に対する施策のPR
- ・ 資金調達手法の多様化
- ・ 個人金融資産の有効活用
- ・ 市場公募化のためのノウハウ習得 など

【H30年総務省自治財政局地方債課資料より】

日之影中学校傍聴の感想文

令和3年第4回定例会一般質問が12月14日に開会され、日之影中学校3年生が傍聴しました。生徒達の感想を紹介します。

◎定例会を見に行つて、日之影のため私たちのために話し合つていて、考えを言つていた。近未来会議で自分達が提案したものを実際に検討してくれたり、実施してくれたり、嬉しいことを聞くことも出来た。多くの目標を叶えるために、多くの課題を解決するために、これからも話し合いを続けるのは大変だろうけど、私たちのために行なってくれるのは嬉しいし、自分達も何かできる事をしたいと思った。

◎町が行っている取り組みは、新型コロナウイルスや子育ての支援しか知らなかったけど、その他にも便利で住みやすい町づくりや、町民と行政の連携の仕方など、あまり日頃目につかない部分の活動もしているのだと知りました。議員さんが町長たちへ質問ばかりでなく、自分の意見を交えながら言うことで、話し合いのようだった。町へ自分も少しでも貢献していきたい。

◎実際に町の政治が行われている場所に見学できて良い経験になりました。特に、私たちが行つた近未来会議について話があったり、その内容が行われるということで、意見が反映されてとても嬉しいです。これからも町の政治に関心を持つて、社会の一員として社会参画していきたいです。

◎私たちが近未来会議で提案したことが、議会の中で上がったのは嬉しかったです。新しい活動を始めることを提案する時、必ず予算の話が伴っていました。日之影町は財源が乏しいと言ふことだったので、いかに効率良く新事業を始めるのが大切だと思いました。

◎議会を傍聴してみて、難しい言葉が多くありましたが、日之影の事について熱心に話されていることが印象に残りました。これから日之影を離れるかもしれませんが、自分の故郷に貢献できることを考え、行動していきたいと思いました。

◎今日は議会傍聴に行きました。近未来会議などのキャリア教育は地元愛を深めるためのものであることを知れました。ふるさと納税の額が増えている事に驚きました。また、新しい特産品の開発はとても楽しみです。

◎今日は、議会傍聴に役場へ行きました。私たちに関わる「ICT」などの事は、ここまた、私たちは、公約のことで、こんな風に決まっているのだと知ることができました。など自分達の住んでいる政治について、目を向けるべきだと思いました。

中学校で行われた「ひのかげ近未来会議」で生徒達から町へ提言された、すまいるバスのダイヤについてや、タブレット学習に必要なヘッドセットの整備について定例会で議論されました。

表紙者紹介

今回は、日之影駐在所長の広瀬哲朗さん、高松駐在所長の林慶さん、八戸駐在所長の三樹武司さんをご紹介します。



広瀬さん
【日之影駐在所】

- 【出身地】宮崎市 【年齢】57歳
 【今までの勤務地】宮崎北、宮崎南、都城、高岡、高千穂（2回）
 【趣味】野球観戦
 【家族構成】駐在所で妻と2人暮らし、長男は大学生
 (問)日之影町の印象は？
 (答)地元住民の温かい心遣いと四季折々にいただく地元産の食べ物がとてもおいしいです。（竹の子、栗、山太郎ガ二等）
 (問)警察官になって良かったことは？
 (答)事件解決した後の被害者からの「ありがとう」の一言。
 (問)警察官になって苦労したことは？
 (答)小学生等の交通事故等における家族へのフォロー。



林さん
【高松駐在所】

- 【出身地】大分県佐伯市 【年齢】35歳
 【今までの勤務地】日向署
 【趣味】ランニング
 【家族構成】独身で花嫁募集中
 (問)日之影町の印象は？
 (答)地域の方が優しく、温かいところだと感じました。
 (問)警察官になって良かったことは？
 (答)地域の皆さんとふれ合えること。
 (問)警察官になって苦労したことは？
 (答)警察学校が大変でした。



三樹さん
【八戸駐在所】

- 【出身地】日向市 【年齢】33歳
 【今までの勤務地】延岡署、日向署
 【趣味】ドライブ
 【家族構成】妻、長男、次男の4人。単身赴任中です。
 (問)日之影町の印象は？
 (答)地域の方から公私共に良くしてもらっており、良い人が多くて穏やかな地域だと感じました。
 (問)警察官になって良かったことは？
 (答)困っている人の力になることができること。
 (問)警察官になって苦労したことは？
 (答)昨年の旭化成の火災の際に危険な薬品を取り扱っていたことから、防護服を着て作業を行ったこと。

■議会傍聴のご案内

12月の定例会では、日之影中学校の生徒の皆さんに傍聴いただきました。次回の定例会は3月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 TEL 87-3808

今回は日之影中学校の活動を紹介します。中学校では地域との意見交換や議会傍聴など様々な活動を行っています。

ひなた場

12月3日に、日之影中学校で「日之影中・ひなた場」が行われました。この行事は、中学3年生が、地域で活躍している若手社会人と対話することにより、日之影で暮らし働くことの魅力を再発見したり、将来の生き方についての考えを広げたりすることをねらいとしています。講師として、地域で活躍していられる社会人の方12名に、お忙しい中ご協力いただきました。講師の皆様のお陰をもちまして、3年生は、今後の自分の人生や今後の日之影町の在り方について深く考えたようでした。そして、何よりも悩みが解消されたすがすがしい晴れ晴れとした表情をしていたのが印象的でした。ありがとうございました。（日之影中学校より）



議会傍聴

12月14日、12月議会の一般質問を傍聴しました。タブレット端末をノート代わりに熱心にメモをとっていました。



編集後記

明けましておめでとうございませう。昨年中も、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限を強いられ、ワクチンの接種により、一昨年と比べると少しづつですが、感染症対策を行いつつながら各種事業が執り行われるようになったように感じられます。本年はもう一歩前に進み、少しでも通常通りの生活を過ごせたり、各種事業を行えることを願いたいと思います。そして、様々な出来事を通じ、議会として情報をお届けできるようにしていきたいと考えています。また、議会報に対する御意見、御要望も広くいただけると幸いです。本年もよろしくお願ひいたします。

高館 英嗣

発行責任者

議長 一水 輝明

議会報編集委員

委員長 高館 英嗣

副委員長 工藤 英信

委員 小谷 幸治

委員 小川 輝久